

報道関係各位

2021 年 3 月 22 日（国連【世界水の日】）

「ユース水フォーラム・九州」発足

第 4 回アジア・太平洋水サミット（2022 年 4 月、熊本）にも参加予定！

特定非営利活動法人日本水フォーラム（認定 NPO 法人、東京都中央区、代表理事：竹村公太郎）は、2021 年 3 月 22 日、「ユース水フォーラム・九州」（以下、YWFQ）を発足させます。

YWFQ は、九州地方 8 県の高校生世代の皆さんにご参加頂くプラットフォームです。水に関連する活動を実践したり、水にまつわる社会的課題・地球規模課題を学んだりした成果をまとめた動画でご参加頂きます。動画の使用言語は英語です。

YWFQ への参加を通じ、高校生世代の皆さんに将来、水関連分野を中心として活躍できる国際人材となって頂くことを目指します。2022 年度から新たに必修科目となる「地理総合」の、学習の一助となることも目指しています。

Youth Water Forum JAPAN
Youth Water Forum KyushuYWFQ パンフレット
表紙掲載イメージ

「ユース水フォーラム・九州」（YWFQ）活動概要

(1) 目的

- 高校生世代（15-18 歳）を対象に、将来、水関連分野を中心として活躍できる国際人材を育成する

(2) 活動内容；

- 高校生世代の皆さんに、短編動画（英語）を制作し参加して頂く。動画はインターネット上で公開
- 日本と海外の高校生世代が交流できる機会を創出する（その一例として、第 4 回アジア・太平洋水サミット※で優秀動画の上映・発信を予定）

参加方法等は順次、YWFQ 公式フェイスブック（本日開設、[@YouthWaterForumQ](https://www.facebook.com/YouthWaterForumQ)）で公表してまいります。

(3) 今後の展望；「ユース水フォーラム・日本」等への発展

- 全国（九州地方以外から）の参加校・団体にも広くご参加頂く
- 全国（九州地方を含む）の、高校生が参加できるプラットフォームとして存続・発展させる
- 参加動画はライブラリー化し、アジア太平洋地域の高校生世代へも拡大させる

※第 4 回アジア・太平洋水サミット

アジア太平洋地域 49 カ国の首脳級を主対象とした国際会議

日程：2022 年 4 月 23 日（土）、24 日（日）、会場：熊本城ホール

主催：熊本市、アジア・太平洋水フォーラム*

テーマ：持続可能な発展のための水～実践と継承～

公式サイト：<http://apwf.org/kumamoto-2020-jp/>

* 国際ネットワーク組織（NGO）。事務局：日本水フォーラム



4th Asia-Pacific Water Summit



4th Asia-Pacific Water Summit Kumamoto Japan 2022

問い合わせ先

ユース水フォーラム・日本に関すること

特定非営利活動法人日本水フォーラム(認定NPO法人)【ユース担当:浅井、上村、武石】

E-mail: jwfyouth@waterforum.jp

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町5-4 アライズ第2ビル6階

電話: 03-5645-8040

ユース水フォーラム・九州に関すること

九州大学大学院工学研究院環境社会部門生態工学研究室

准教授 清野 聡子

E-mail: seino@civil.kyushu-u.ac.jp

熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター

特任教授 渡邊 紹裕

E-mail: nabe@kumamoto-u.ac.jp

第4回アジア・太平洋水サミット 九州の高校生たちの海外への発信



Youth Water Forum JAPAN Youth Water Forum Kyushu

2021年3月

ユース水フォーラム・九州

特定非営利活動法人日本水フォーラム
(認定NPO法人)



世界の課題と日本のイニシアチブ

気候変動による水災害の激甚化、水環境の悪化
水災害による経済損失、水資源の争奪...

世界の全てのセクターが、水問題への関心を高めています。

衛生状態の改善、防災対策の推進、損失リスクの回避、
持続可能な社会のために、これからも長い取組が続いていきます。
めぐみをもたらす一方、災害の原因となる「水」への取組に、
叡智を蓄積してきた日本は、水問題のなかでも、
特に水災害対策についてイニシアチブをとってきました。

この取組を次の世代に継承すべく、また、
日本の高校生が世界や地域の問題解決を考え、
交流することにより国際人としての素養を養うべく、
「ユース水フォーラム・九州/日本」を設立します。

将来、世界や日本で活躍する人材育成を
「身近な水を通して」行います。

日本の教育方針と 水への視線

世界の持続可能性が問われる今、自国の動向とグローバルな動向を横断的・相互的に捉えて現代的な諸課題を歴史的に考察する力、**持続可能な社会づくり**の観点から地球規模の諸課題や地域課題を解決しようとする態度など、国家及び社会の形成者として必要な資質・能力を育てていくことが求められています。

**「水」は地球規模の課題であり、また、日本そして各地域の課題です。
高校生にとって、「水」は格好の学びのテーマです。**



地理総合（高等学校）
2022年度から必修科目

新学習指導要領「地理歴史科」の「地理総合」は、持続可能な社会づくりの観点为中心的課題であり、社会的事象の地理的な見方・考え方を鍛えることが必要とされ、国際協力、SDGsや生活圏の自然災害と防災等について学習します。

**ユース水フォーラム・九州/日本は、
「地理総合」の学びを発展させ、生徒の資質・能力を
実践的に育むプラットフォームになります。**



「水」は、持続可能な開発目標（SDGs）の目標6「すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する」に据えられており、それ以外にも全ての目標に関わっています。



4th Asia-Pacific Water Summit
Kumamoto Japan 2022

熊本市で第4回アジア・太平洋水サミット開催

アジア太平洋地域における水問題の解決に向け、開催国政府等と国際ネットワーク組織「アジア・太平洋水フォーラム」（会長：森喜朗元内閣総理大臣）が共催する首脳級会合です。第4回アジア・太平洋水サミット（APWS）が、「持続可能な発展のための水～実践と継承～」をテーマとして熊本県熊本市で2022年4月23日（土）・24日（日）に開催されます。

※ 第1回：2007年（大分県別府市） 第2回：2013年（タイ：チェンマイ） 第3回：2017年（ミャンマー：ヤンゴン）



第2回アジア・太平洋水サミット

課題解決のために世界や日本で活躍する人材を

ユース水フォーラム・九州/日本

- 日本の高校生の水関連分野における活動等をウェブサイトから国内外に発信
- 海外の高校生との情報交流を活性化
- 第4回APWSにおいて高校生の視点から情報発信

水分野の活動を実践している高校生のネットワークを構築、相互に切磋琢磨できる環境を整備し、活動内容を世界に発信、海外や国内の高校生と相互共有することで、国際人としての素養を高めることを目的に、設立、活動します。



- 対象者** 国内の高校または同等の学校に在籍している生徒等の15～18歳の方
- 活動例** 参加型ウェブサイトを用いたアジア太平洋地域の高校生との交流など

ユース水フォーラム・九州の組織体制

- 事務局長** 渡邊紹裕（熊本大学くまもと水循環・減災研究教育センター・特任教授）
- 企画統括** 清野聡子（九州大学大学院工学研究院環境社会部門生態工学研究室・准教授）
- 企画統括** 田中尚人（熊本大学熊本創生推進機構・准教授）
（熊本地域担当）
- 相談役** 竹村公太郎（日本水フォーラム・代表理事）
- 事務局員** 浅井重範、上村奈津子、武石晃徳（日本水フォーラム）

4th Asia-Pacific Water Summit

関係7省が協力する 第4回アジア・太平洋水サミットで世界に向けて情報発信

サミットの開催中、ユース水フォーラム・九州/日本の活動成果である、日本とアジア太平洋地域の高校生による水に関する取組を動画にして、情報発信します。

関係7省：外務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、国土交通省、環境省